

経営比較分析表（令和4年度決算）

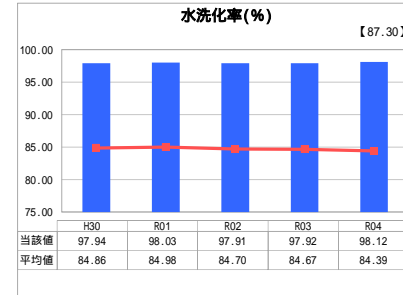
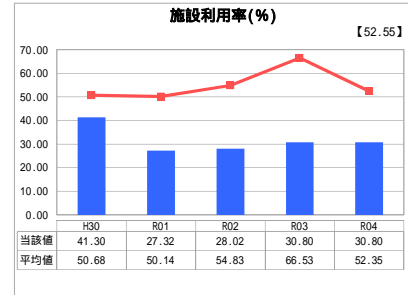
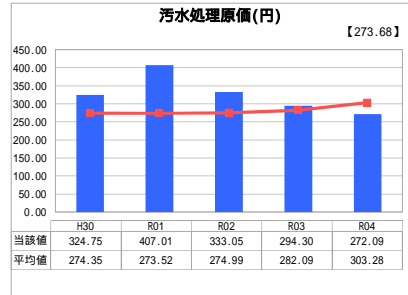
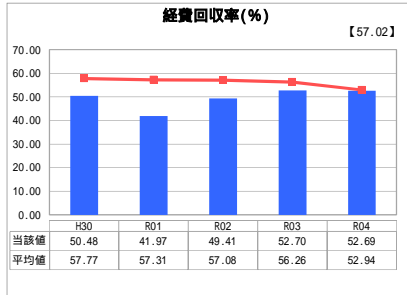
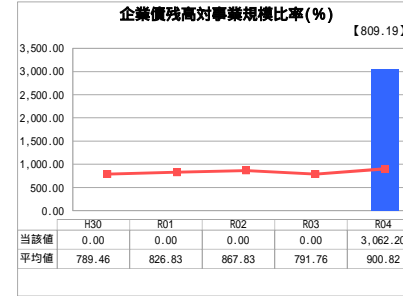
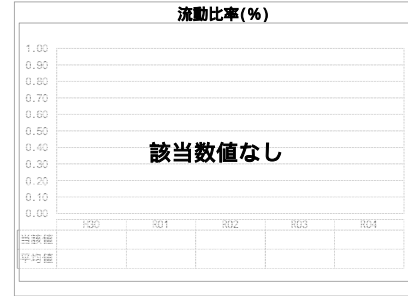
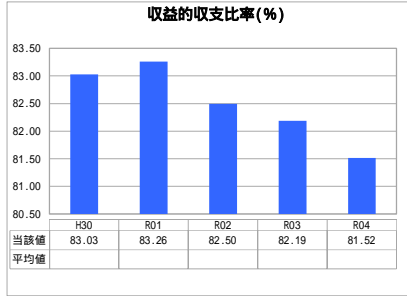
兵庫県 佐用町

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	9.36	100.00	4,013

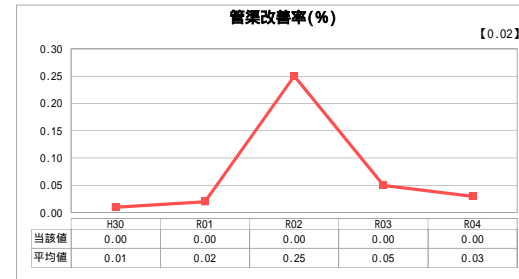
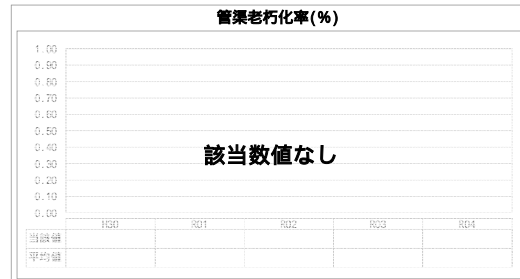
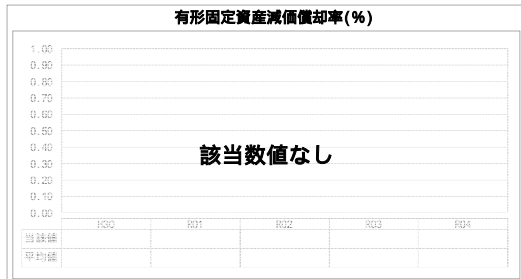
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,499	307.44	50.41
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,435	0.66	2,174.24

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、前年に比べ微減で、使用料以外の収入は一般会計からの繰入による部分が多いため更なる維持管理費の節減、使用料の見直しが必要がある。
 企業債残高対事業規模比率は起債償還を一般会計からの繰入金に依存しているため当該値に反映されていない。
 経費回収率は前年に比べ横ばいであるが、全国平均値及び類似団体平均値を下回っており、今後も継続人口が減少することが予測されるため、使用料の改定などを視野に入れた計画策定が必要である。
 汚水処理原価は前年度に比べ横ばいでいる。
 施設利用率は前年に比べ横ばいで全国平均値及び類似団体平均値をかなり下回っていることから更新時の施設規模の見直しが必要である。
 水洗化率は高い水準であり、今後も引き続き水洗化推進を図る。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率は更新投資に数値無であるが、事業統合及び長寿命化計画により必要な管渠の更新を実施中である。

全体総括

山間地という不利な立地条件のため、住居が点在しており維持管理に係るコストが、都市部など人口密度が高い地域に比べ割高になるのが避けられない状況であり、一般会計からの補填により事業を維持せざるをえない。
 人口減少による料金収入の減少、老朽化による更新の必要性から一部区域を特環下水に統合し、効率的な施設の維持管理の取り組みを開始し、長寿命化を計画的に実施する。
 今後も経営戦略に基づき、長期的な視野のもとで効率的な経営に取り組み、経営改善に努める。また、令和6年度から企業会計に移行することから抜本的に事業運営を見直ししていく必要がある。